



ご寄付ありがとうございました

利用者様やご家族の皆様よりご寄付を頂戴いたしました。心から御礼申し上げます。ご支援いただいた寄付金で車イスなどを購入させていただきました。



河野 雅子様 鈴木 裕子様 飯田たか子様 花岡 典子様 保戸塚フミ様
中村 暁史様 退所者のご家族の皆様 匿名希望の皆様 (順不同)

これからも高齢者福祉事業を安定的に継続するためにぜひとも多くの皆様にご理解いただき、お力添えを賜りたくご支援ご協力のほど心からお願い申し上げます。

社会福祉法人への寄付は所得税や住民税等の税法上の寄付金控除の対象となります

ボランティア募集

育秀会の一員として施設の環境整備などをお手伝いして下さる方を募集しています。ボランティア活動にご興味をお持ちの方、どうぞ施設までお気軽にご連絡ください。

- 書道 ● 音楽 ● 折り紙 ● 制作 ● 傾聴 ● 縫物
- 家事援助(洗い物、洗濯物たたみ)
- 車イス整備 ● 園芸活動 ● 施設内整備など

活動例

施設の日々の風景を発信中!

スタッフブログとInstagramにて発信しています。



#育秀会



育秀会 検索



育秀会QRコード



職員募集 & 施設見学会

育秀会では、一緒に働く職員を募集しています。施設の雰囲気を実際に感じていただくため、施設見学会も開催していますので、福祉に少しでもご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



キャリアス就活 育秀会HP 就職情報QRコード

お問い合わせは、「キャリアス就活」サイト、育秀会ホームページまたはお電話やメールで!

育秀会だより for others

社会福祉法人 育秀会
www.ikushukai.or.jp/
令和6年9月発行



クジャクツバキ
森本三枝子

2024年を迎え、能登半島地震が発生し、その後も各地の地震や異常気象など私たちを取り巻く自然環境が変化している事を実感しています。被災した方には心からお見舞いを申し上げ、一日も早く元の日常に戻りますように祈願しています。昨年の育秀会だよりでは、朝の連続テレビ小説の牧野富太郎博士について書かせて頂きましたが、現在放送中の「虎に翼」は、1940年日本初の女性弁護士がモデルです。女性に参政権が認められないなど男尊女卑の風潮が根強い中、法曹界の草分けとして時代を切り開いた先駆者でした。私たち育秀会の創設者阿部秀世も日本初の女医教育を受けて、1932年に医師となり、男女の区別なく、人間は世のため人のために尽くしてこそ生きる価値があると医療福祉の道に進みました。その言葉、精神は、現在もこの法人の職員に受け継がれています。これからも私たちを取り巻く環境が少しでも良くなりますように社会福祉事業を実践してまいります。どうぞ皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人育秀会 理事長 中村 喜江

施設情報

詳細はこちら



育秀会QRコード



育秀苑

〒176-0002
東京都練馬区桜台2-2-8
TEL.03-3557-7637(代表)
FAX.03-3557-7638



第2育秀苑

〒176-0003
東京都練馬区羽沢2-8-16
TEL.03-3991-0523(代表)
FAX.03-3991-0570



第3育秀苑

〒179-0076
東京都練馬区土支田1-31-5
TEL.03-6904-0105(代表)
FAX.03-5968-8040

社会福祉法人 育秀会 (昭和27年12月設立) <https://www.ikushukai.or.jp>



社会福祉法人 育秀会

〒176-0002 東京都練馬区桜台2-2-8
TEL.03-3557-7637 FAX.03-3557-7638

編集後記 例年爽やかな新緑の季節に始める育秀会だよりの企画会議ですが、社会の動向やこの1年の活動を話し合いながらとても悩みます。何をお伝えしたいか、できるか。大切にしている利用者様の笑顔、職員の笑顔、ご協力いただいている地域の方との繋がり、様々なことを振り返りながら編集しました。ご一読いただければ幸いです。

災害に強い施設を目指して

大規模な自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要であることから、育秀会では平時から緊急事態を見据えた体制を整えています。また、自然災害だけでなく、施設内での防火対策なども重要です。地域との災害連携を含めた取り組みをご紹介します。

1 Business Continuity Plan BCP (事業継続計画) の策定、研修・訓練の実施

BCP(事業継続計画)とは、災害等の緊急事態においても介護サービス事業を継続する、または早期に復旧させることを目的として予め具体的な行動指針を定めたものです。被災状況によっては、限られた職員・設備でサービス提供を継続する必要があることも想定されるため、重要業務の優先順位を整理し、迅速かつ適切な対応ができるよう定期的な研修や訓練を行っています。



BCP委員会

災害対策への取り組みについては**3施設合同による委員会**を設け、施設の垣根を越えて意見を出し合い、解決策の検討や行動計画を立案しています。



炊き出し訓練

災害発生時に電気や水道、ガスなどのライフラインが停止することを想定して、**カセットコンロや非常用発電機を利用した調理方法**について訓練します。使い捨て食器を使用して配膳準備を行い、**食事提供に必要な人数や時間などを確認**します。



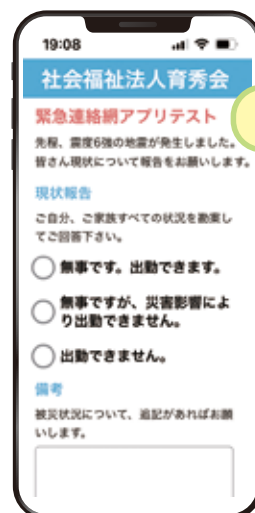
非常用発電機訓練

停電時に室内の照明やスマートフォン等の連絡手段の確保、温かい食事を提供するため、**非常用発電機を安全に使用するための訓練**が欠かせません。**職員の誰もが操作できる**よう、日頃より備えています。



災害備蓄

施設では災害に備えて**さまざまな防災備品**を確保しています。非常食は災害による心身のストレスを少しでも減らすために甘いものを取り入れるなど、**バランスを考え美味しく栄養補給**できるように用意しています。



緊急時メール連絡網アプリの活用

災害発生時の職員との連絡手段として、スマートフォンアプリを使用した緊急連絡網システムを導入しています。**職員及び職員家族の安否確認や施設への参集を呼びかける一斉連絡**などに利用しています。

※画面はイメージです

2 防火対策



防火訓練

いざ火災が起きた時、被害を最小限に抑えられるよう災害を想定し、**机上シミュレーション**や**避難訓練**を行っています。火災直後、冷静に状況の確認ができ、安全確保を主体的に行えるように日頃から意識して活動しています。**地域の方々も参加**いただき、繋がりを大切に**互いに支えあえる関係性**を築いていきます。



防災設備

火災通報設備を事務所内に設置しています。受信機が火災信号などを感知すると警報音が鳴動し施設内にいる人に知らせてくれます。**発生場所が分かる**ようになり、**自動火災報知設備と連動**され**119番通報**されます。防排煙設備や消火栓への連動も行われます。



3 福祉避難所の指定

「福祉避難所」とは、一般の避難所で長期間生活を続けることが難しい高齢者の方、障害のある方等を対象に開設される避難所です。心身等の状況や医療面でのケアの必要性から介護保険施設や医療機関に入所・入院するに至らない程度の在宅の要配慮者の受入れを練馬区の指示に沿って行います。育秀会では、3施設すべての事業所が福祉避難所の指定を受けており、災害時でも地域の皆様に安心・安全な居場所を提供できるよう、日々訓練を行っています。



福祉避難所の開設訓練・無線通信訓練

育秀会では、**練馬区と連携**して福祉避難所の開設訓練、防災無線機の使用訓練を定期的に行っています。



被害状況を報告するシミュレーション



福祉避難所を開設する訓練



3つの施設で行う「防災無線機による連絡訓練」

避難拠点との連携

震災発生時に地域活動の拠点・避難所となるのが「**避難拠点**」です。練馬区立の小中学校に設置される避難拠点と連携して**福祉避難所の円滑な運営**に努めるべく、連絡協議会や訓練に参加しています。



開進第四小学校避難拠点・羽沢町会防災訓練



お正月



鬼は外
福は内

節分



桃の節句

育秀苑

今年度のミッション

Have a Try!~やってみよう~

ここ数年制限のある生活が続き、これから一步一步進んでいく為に、まずは“何事もやってみる”ことからはじめるという思いで取り組んでまいります。職員一同で季節行事や日々の活動を充実させていき、ご家族や地域の方々のご支援をいただきながら、利用者様を始めとした関わる全ての方が、笑顔の花咲くアットホームな日常生活を送れる様に努めていきます。

ほら、桜の花びら
可愛いでしょ♪



お花見



朝日は
綺麗だね



ミャンマーの踊り
綺麗だったよ

夏祭り



和食の日



端午の節句



実習生とゲーム大会



土用 丑の日



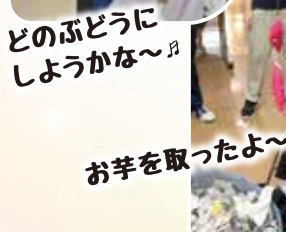
おやつ
抹茶あんみつ



秋のレクリエーション



クリスマスコンサート



どのぶどうに
しようかな~♪

お芋を取ったよ~



敬老のお祝い



桜台地域包括
支援センター

桜台地域包括支援センターは今年度より新しく配置された、「生活支援コーディネーター」を含めて地域づくりに力を入れています。併設のさくらカフェはいつでも誰でもコンセプトに、多世代交流を行っています。地域の方々が集える癒しの空間、ひと休みの場としてもご利用ください。



居宅介護支援事業所

私たちケアマネジャーは利用者の立場に立つこと、家族の思いを大切にすることを常に心がけ、地域で信頼される事業所を目指してまいります。日々、抜群のチームワークで業務を行っています。介護に関する相談や介護サービスについてのお問い合わせなど、お気軽にご相談ください。



心を込めて
お祝い

お誕生日



謹賀新年

第2育秀苑神社に初詣



「最高ね、いいわね!」



いつまでもお元気で
敬老のお祝い



クリスマス



鯉のぼりの
準備は一緒に

端午の節句



クリスマス



ひなまつり

職員手製のひな壇
気に入っていただけました♪



珍しい1枚?!
事務職員とハイチーズ



あっ



一緒にピース

第2育秀苑

今年度のミッション

『思いやり』を大切に。

四季折々のレクリエーションや日常の活動を通して、利用者様が笑顔で穏やかな日々をお過ごしいただけるように取り組んでいます。利用者様をはじめ、施設を取り巻く全ての皆様に寄り添う気持ちを大切にこれからも努めてまいります。



地域包括支援センター

地域にお住まいのご高齢者とそのご家族が、安心して自分らしく生活できるよう、思いやりを持った支援を行ってまいります。また、今年度より生活支援コーディネーターを中心に、暮らしやすい地域づくりを目指します。



第2育秀苑

ホームヘルプサービス

住み慣れたご自宅で安心して過ごせるよう、常に皆様に寄り添い、思いやりの心を大切にサービスしていきます。





第3育秀苑 一人ひとりの暮らしを大切に

当たり前の日常を取り戻せるように様々なイベントを企画しています。入居者様の想いやご希望を叶え、その人らしく過ごせるようにお手伝いいたします。

特養・ショートステイ



地域包括支援センター

地域の高齢者の～一人ひとりの暮らしを大切に～
たくさん居場所があって良かったと思える街づくりを進めます。



居宅介護支援事業所

皆様一人ひとりの生活を支えるお手伝いをします。



訪問介護事業所

住み慣れたご自宅でのその方らしい暮らしを笑顔と真心で支援します。



介護福祉のプロとして、育ち、秀でる環境がここにある

育秀会 キャリアアップ制度

育秀会では「専門職として自覚を持ち責任ある行動ができる」を教育指針として、職員のキャリアアップに向けて取り組んでいます。

教育目的

- 基本方針・理念を実現できる職員の育成
- 個々人の知識、技術、意欲の向上
- 信頼され育成できるリーダーの養成
- 社会福祉法人の一員として社会に資する人材の輩出



育秀会の教育プログラム

LEVEL 1 概ね1年目	LEVEL 2 概ね2～3年目	LEVEL 3 概ね4年目以上	LEVEL 4 主任クラス
サービス・実践能力	的確な判断と正確な知識・技術に基づいた専門職のサービス提供能力の育成。その基礎となる倫理と信頼関係を築けるコミュニケーション能力の育成	チーム・所属・組織の中での役割を認識し専門職として責任を果たす安全と経済性を考慮した職務遂行能力の育成	スペシャリスト
役割遂行能力	チーム・所属・組織の中での役割を認識し専門職として責任を果たす安全と経済性を考慮した職務遂行能力の育成	継続学習による能力の維持・発達に努められるように自己教育力を身につけ、より質の高い専門的ケアの提供に向け、研究的視点を持って取り組める能力の育成	ジェネラリスト
教育・研究能力	継続学習による能力の維持・発達に努められるように自己教育力を身につけ、より質の高い専門的ケアの提供に向け、研究的視点を持って取り組める能力の育成		セルフプロデュース

法人が求める職員育成、職員像を目指し年間計画を立て、職員の経験や能力に合わせて、新規採用者研修や階層別研修を行っています。講師は法人内の職員に依頼し、講師もまた良い学びの機会となっています。その他、外部講師をお招きしての公開講座も複数回実施しています。



また、日頃の成果を発揮できる場として、レベル毎の「研究発表会」や施設単位での取り組みを発表する「法人内研究発表会」等も行っています。昨今感染症の影響で、集合開催ができていませんでしたが、2023年度は4年ぶりに3施設が集まって「法人内研究発表会」を開催することができました。

様々な世代、色々な職種が学びの機会を共に持ち、各々社会人として、専門職としての研鑽を図り、「for others」の精神を胸に一層のパフォーマンスを発揮してもらいたいと思っています。その上で、利用者様、ご家族、地域の方々へより良いサービス提供ができるよう、これからも学びを深めてまいります。

令和6年度 地域懇談会

令和6年6月29日実施



地域懇談会は、介護保険制度導入前に練馬区から、「一人暮らし高齢者実態調査」の委託を受け、その調査結果を各町会の皆様にご報告し、介護保険制度について話し合いをさせていただいたことがきっかけでスタートいたしました。

その後、年に一度開催を続けてきましたが、2020年から新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされ、新型コロナウイルス感染症が5類移行したことに伴い、昨年より再開いたしました。

2002年初開催から20有余年、社会の環境も変わり、介護についての考え方も大きく変わりました。今後も、町会の皆様から地域における福祉ニーズやご意見を頂くなかで、地域の皆様との協力関係をより強いものにしていければと考えております。